



＜授業改善に向けての取り組み＞				
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> 年間を見通した指導計画を作成し、随時点検、修正、改善を行う。 少人数指導の活用できめ細かい指導を図る。 習熟の時間を設け、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 日常の各教科の学習で、言語活動を促す。 学習課題に対する興味・関心を高める指導の工夫に努める。 習熟度別指導を計画的に行い、個に応じた指導の工夫に努める。 タブレット端末などを活用し、視覚的な情報を提示し、理解を深める。 問題解決的な学習の流れに沿った授業を行うとともに、授業形態の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数を確保する。 朝の国語モジュールの時間に漢字や短文の学習を計画的に行い、基礎的・基本的な内容の定着と意欲向上を図る。 体育発表会、持久走大会、長縄集会、短縄集会を実施するなど、全校で取り組める活動を設定し、児童の体力増進を図る。 学習効果が発揮され児童に負担過重とならないように、行事を組む。 教育実践をするにあたり、学習活動が有効であったかどうかを振り返り、行事や会議を精選していく。 特別支援教室での巡回指導を行い、個別に配慮が必要な児童の支援を、校内体制で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が交流する場面を一時間の授業の中に取り入れ、指導形態を工夫し授業改善に努める。 令和4・5年度練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、研究主題「主体的に考え、表現する児童の育成」を目指し、算数科における研究成果と課題を発表した。算数科に限らず、研究成果と課題を授業改善に生かす。タブレット端末を活用して児童が主体的に考え表現する学習形態を工夫する。 研究授業以外でも授業を公開し合い学び合う。 他校の研究発表に学ぶ。 外部の研修会や研究授業に参加し、指導力の向上に努める。 定期的、継続的にOJTを企画、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科における評価計画および評価規準表の見直しを図り、適切な評価活動を行う。 評価の重点化を図り、児童の学びの姿に応じた支援内容を工夫する。 学習カードの活用により個の見取りの充実に実や学習活動について児童自身が振り返る自己評価の力の育成に努める。 外部評価や行事・学校公開での保護者からの評価を生かして、教育活動への改善に努める。 <p>小中一貫教育の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 校区别協議会において小中学校の情報を共有する。 課題改善カリキュラムを活用して9年間の見直しをもち、授業改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針や様々な情報を文書・保護者会・ホームページなどで提供し協力を求める。 学校便り・学年学級便り・保護者会等を通して互いに連携し合い、児童の生活習慣の確立や家庭学習の習慣化などの定着を図る。 地域のボランティアの方々をゲストティーチャーとして活動を行い効果的かつ有効的な教育活動に取り組む。 保護者、地域防災連絡会との連携のもと、防災教育を実施する。 地域清掃など地域の方々と体験的活動を実施する。 道徳授業地区公開講座の実施 保育園とのかかわり 光が丘公園の活用 外部評価や授業公開、学校行事での保護者地域の方々の評価を教育活動に生かしていく。

＜授業改善策の検証方法＞

- 児童、保護者、教職員による授業アンケートを実施し、各部会・分掌で成果と課題を話し合い、次年度に生かす。
- 定期的・継続的に授業を公開し合う。校内研究会において共通の視点に沿って協議を行い、成果と課題を考察する。OJT 研修会において、情報を共有したり改善策を話し合ったりする。
- モジュールにおける漢字や短文の定着を検証するために、漢字テストや意識調査を行い、分析・考察する。